

まなびのおと 3年生特別号

●受験勉強のアドバイス ~先生たちの経験から~

2学期が始まり、1学期以上に自分の進路を具体的に考えるようになり、受験生としての生活に追われている人もいます。そんななかで、よく耳にするのが「勉強の仕方が分からへん」「受験勉強って？」っという声です。そんなみなさんの力に、少しでもなればと思い、先生方が実践した受験勉強の方法について、取材しました。これから、少しずつ発信していくので、参考にして受験勉強を進めてくれると嬉しいです。

【数学科 N 先生】

私が中学生のときに意識していたこと。

①とにかくたくさんの問題にチャレンジしていた。わからない問題は答えの求め方を覚えて自分でやるようにした。各教科で重要なパターン問題やよく見る問題などはしっかりとできるように準備して、できただけ「やったことない問題」がないようにしていました。

②部活を引退後などは特にで“机”

ダラダラとムダな時間を過ごすな。
机は3ヶ受験生!!

【英語科 K 先生】

僕は、中学生の頃から今でも、何かを勉強する時は「ひたすら声に出して書く」ともやりました。何かが聞いたり読んだりするだけで覚えられない人だったから。国語は漢字をひたすら書く、英語は単語をひたすら書く、理科は重要語句をひたすら書く、社会は、重要な出来事や人物名、年号など、手の横に黒くなるまでひたすら書いてました(笑)。数学に関しては、当時から少し苦手だったから、放課後ほぼ毎日先生に質問に行っていました。そこで問題を出してもらったり、ドリルをもらったりしていました。ま、と永禮先生や平尾先生もしてくれました(笑)。何かが非効率的な勉強方法かもしれないけど、勉強は自分で一番取り組みやすい方法でやるのが一番だと思います!!教科書や1冊を見返したり、問題を解いたりしてもなかなか定着しない人は、良ければ実践してみてください。残り約半年間、大変だと思いますが頑張ってください!!

【音楽科 F 先生】

私は、勉強が苦手で、人の10倍はやらないとできないタイプでした。覚えるのも、理解するまでも時間がかかるので、ひたすら問題を解くようにしていました。間違えた問題を中心に何度も解いて、それでも覚えられないものは声に出して読んだり、トイレにはったり、お風呂に持っていくたり、何度もいろいろな紙に書いたりしていました。

国語だったら、漢字が苦手なので同じ問題集を往復し、覚えられない漢字は「何度も書いたり、文法は書く→声に出すをくり返していました。数学は解けない問題と同じような問題を、2、3冊の問題集から選んでできる問題とひたすら解いて覚えていました。英語も、理科も、社会も同じような方法で勉強していました。覚えるものと、解き方から覚えるものを分けると勉強しやすかったです。これにたくさん書いていますが「私は当時携帯を持ってたけど手疲れたから自分でルールを決めて、「〇時から勉強!!」という風にして、携帯の電源も切った布団に埋めていました。おんねこれこれいろいろ方法があると思うので自分に合った方法、ルールを決めて、最後まであきらめず頑張ってください!!(笑)

ずばり!!
これが国語の勉強方法だ!!!

【国語科 K 先生】

国語の勉強の仕方は、「問題を解く」以上!! それだけ!!
そもそも、国語は勉強の成果がすぐには出てこない教科なので、じっくり時間をかける必要があります。だから頑張って問題を解こう!

<読解問題の解き方>

- ①本文をある程度まで流し読みして、話の内容をチェックする。
- ②質問をし、かり読み。「何を聞かれているのか」を確認する。
- ③本文の「質問に関係するところだけ」を読み、答えを探る。

②と③をくり返すだけです!頑張ってください!